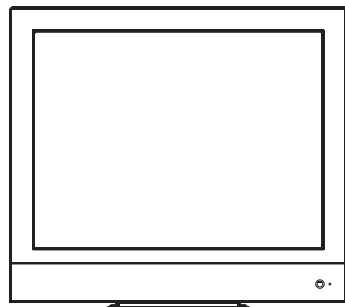
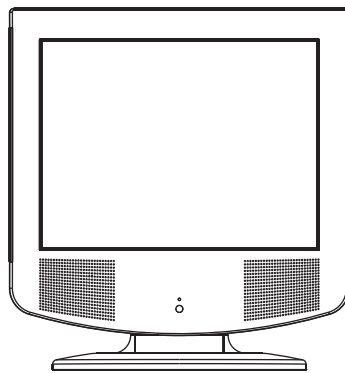
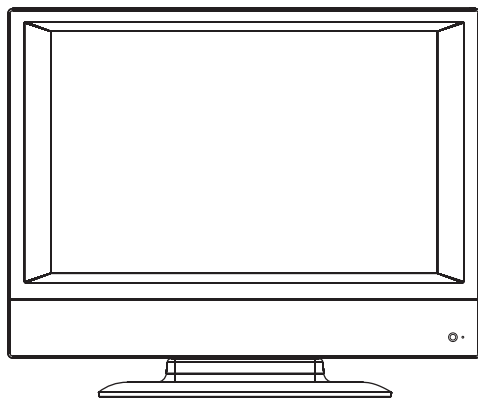
取扱説明書

15/19 型　液晶カラーテレビ

品番 LDR15-X1, LDY15-X1R, LDR19-X1

この度は RAPHAIE 液晶テレビをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

● この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。お読みになった後は大切に保存し、おわかりにならないことがあったときに再読してください。
● 保証書は必ず「販売店／購入日」等の記入を確かめて販売店からお受け取りください。
● この取扱説明書は 3 モデル共通の取扱説明書になります。お買い求めいただいた製品の品番をご確認いただきお読みください。

もくじ

株式会社ドウシシャ

安全上のご注意

ご使用の前にこの「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みの上、安全にお使いください。
お読みになったあとはいつでも見られるところに必ず保存してください。
本機は安全を十分に配慮して設計されています。しかし、間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
本機および付属品をご使用になるときは事故を防ぐために、次の注意事項をよくご理解の上、必ずお守りください。

⚠警告	この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
⚠注意	この表示の注意事項を守らなかった場合、人がけがをしたり、物的な損害を受けたりする可能性がある内容を示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、絵表示をしています。その表示の意味は次のようになっています。
絵表示の例

注意（警告）を含むを促す記号

行為を禁止する記号

行為を強制したり指示する記号

家庭用品品質表示法による表示

ご使用上の注意

1. 内部の温度が上昇しますので通風孔の周囲に適当な間隔をおいてください。
2. 温度の高い場所や湿気の多い場所は避けてください。
3. 内部には高電圧部分があり、感電の原因となりますので、お客様による修理は絶対にしないでください。
4. ちり、ほこりを取るためテレビの内部を掃除するときは、販売店もしくはサービスセンターにご相談ください。

⚠警告

電源コードやプラグの損傷による火災・感電を防ぐため、次のことをお守りください

- 電源コードやプラグを傷つけたり、破損させたり、加工しないでください。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、加熱したりしないでください。
- 重いものをのせたり、電源コードがテレビの下敷きにならないようにしてください。
- 電源コードの表面のビニールが溶けるのを防ぐため熱器具に近づけないでください。
- 電源コードを抜くときは、コードを引っぱらずに必ずプラグを持って抜いてください。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。
キャビネットを開けないでください。
内部には高電圧部分があるため、感電の原因となります。お客様による修理は絶対にしないでください。
内部の点検、調整、修理は、お買い上げ店にご依頼ください。

内部に異物や水分を入れない

金属類や燃えやすいもの、水分などが内部に入ると、感電や火災の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 通風孔から金属類や燃えやすいものを内部に差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
- 本機の上に水の入った容器や植木鉢、小さな金属類 (安全ピンやヘヤピンなど) を置かないでください。
- 水がかかるような場所では使用しないでください。

雷が鳴りだしたらプラグに触れないでください

感電の原因となります。

本機は国内専用です

電源プラグを交流 100 ボルト (AC100V) の家庭用電源コンセント以外にはつながないでください。異なる電源電圧で使用すると火災や感電の原因となります。

設置場所や取り付けには気を付けて、水平で安定した場所に設置する

ぐらついた台や傾いた台などに置くと、落下によるけがや物損事故の原因となることがあります。
また、台などにのせて設置する場合は転倒防止の処置をしてください。

異常時の処置

故障のまま使い続けると、火災や感電、けがの原因となります。
次のような症状が見つかったら

- 異常な音や臭いがする、煙が出ている。
- 内部に水や異物が入った。
- 本機を落とした、本機の一部を破損した。
- 正常に動作しない。(画面が映らない、音が出ない)
- 電源コードやプラグに傷がある。

ただちに、電源スイッチを切って、電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店または、ドウシシャサービスセンター（裏表紙に記載）に修理をご依頼ください。
電源プラグをすぐに抜くことができるように、容易に手が届く位置のコンセントを使用して設置してください。

安全上のご注意（つづき）

⚠注意

通風孔をふさがない

通風孔 (放熱のための穴) をふさがないでください。内部に熱がこもり発火やけが、感電の原因となることがあります。

- 密閉したラックの中に入れないでください。
- じゅうたんや布団のような柔らかいものの上に置かないでください。
- 布団や毛布、布をかけないでください。
- 暖房器具のそばや直射日光が当たる場所など高温になるところに置かないでください。
- 本機の設置は壁から 10cm 以上、上部は 30cm 以上、左右 10cm 以上の間隔を開けてください。

禁止

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない

火災や感電の原因となることがあります。

禁止

本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない

倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。特に小さなお子様には気を付けてあげてください。

禁止

水平で安定した所に置く

倒れたり、壊れたり、けがの原因となることがあります。

指示

キャスター付テレビ台に置くときは、キャスター止めをする

可動式の台は動きやすいため、転倒によるけがの原因となることがあります。

禁止

安全のため電源プラグを抜く

次の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。思わぬ火災や感電の事故から防ぎます。

- 旅行などでしばらく使わない場合
- お手入れをする場合
- 本機を移動させる場合 (この場合は、接続コードなどもはずしてください。)

プラグを抜く

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

1 年に 1 度は内部の掃除をお買い上げ店にご依頼ください

内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。

- お客様ご自身による内部の掃除は絶対にしないでください。感電の原因となります。
- 内部清掃費用については、お買い上げ店にご相談ください。

指示

ときどきは電源コンセントやプラグの点検を

長い間コンセントにプラグを差し込んだままにしておくと、ほこりがたまり、湿気が加わることで漏えい電流が流れ、火災の原因となることがあります。
電源プラグがはずれかけていたり、破損したりしている場合は、特に危険です。

思わぬ事故を防ぐために

- コンセントの周りにほこりをためないようときどき掃除をする。
- 電源プラグがしっかりと差し込まれているか確かめる。
- コンセントやプラグに異常がないか確かめる。

液晶パネルの取り扱いについて

- 液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えないでください。液晶パネルのガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症などの原因となることがあります。万一口に入った場合は、すぐにうがいをして医師にご相談ください。また、目に入ったり皮膚に付着した場合は、清浄な水で最低 15 分以上洗浄した後、医師にご相談ください。

お手入れについて

- お手入れの際は、必ず本機及び接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 柔らかい布で軽く乾拭きしてください。汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞り、拭き取った後は乾拭きしてください。
- キャビネットの変質・破損・塗料はがれの恐れがありますので、次のことをお守りください。
  - ベンジンやシンナーは使わないでください。また、化学ぞうきんの使用は、注意書きに従ってください。
  - 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムや粘着テープ、ビニール製品などを長期間接触させないでください。
- 液晶パネルの表面は、薄いガラス板の上にコーティング加工が施されています。パネル保護のため、次のことをお守りください。
  - パネルに硬いものやとがったものを当てたり、強く押したりこすったりしないでください。傷付き·変色の原因となります。
  - パネルの表面に露付きなどによる水滴など液体を付着した状態で使用しないでください。色ムラ・変色の原因となります。
  - パネルの汚れを拭き取るときは、ほこりの付いた布や化学ぞうきんなどを使わないでください。傷付き・変色の原因となります。

もし、異常があるときはすぐにお買い上げ店または、ドウシシャサービスセンター（裏表紙に記載）にご相談ください。

安全上のご注意（つづき）

乾電池の取り扱いについて

乾電池の使い方を誤りますと、液漏れや発熱、破裂する恐れがありますので次のことをお守りください。

- ＋－の指示通りに入れる。
  使い切った電池はすぐに取り出す。種類の違う電池、または新しい電池と古い電池を混ぜて使わない。
- しばらく使わないときは取り出しておく。
  電池の充電、ショート、分解、火への投入、過熱などしない。液漏れが有った場合は、その液に触れない。

指示

禁止

主な特長

オンスクリーン表示

映像調整、音声調整など、画面を見ながら設定ができます。

映像 / 音声調整

お好みの映像と音声を選ぶことができます。画面の「コントラスト」・「明るさ」・「色合い」・「色の濃さ」・「シャープネス」をお好みの映像に調整して記憶させることができます。音声も「低音」・「高音」・「バランス」をお好みの音声に調整することができます。

スリープタイマー

おやすみ前にタイマーをセットしておくと、自動的に電源を消すことができます。（30・60・90・120 分）
リモコンの スリープ ボタンで操作できます。

D4 端子

ビデオデッキや DVD プレーヤーなどの AV 機器と接続して高品位な映像を楽しむことができます。（接続コードは付属しておりません。）

D-SUB 端子

15 ピンの D-SUB 端子を接続することで、パソコンのモニターとして使用できます。（接続コードは付属しておりません。）

無信号 OFF

TV 放送が終了した時や外部信号が入力されない場合に約 15 分で電源が切れる親切設計です。

画面の切替

画面の内容によりアスペクト比率を 16：9 と 4：3 に切り替えることができます。（LDR19-X1 のみ PC モニターに使用時の 16：10 にも切替可能です。）

使用上のご注意

面欠点について

液晶パネルには､画面の一部に欠点（光らない点）や輝点（余計に光る点）が存在する場合があります。これは故障ではありません。

残像について

静止画（画面表示など）やメニュー表示を短時間（約 1 分間）表示し、映像内容が変わったときに前の静止画が残像として見えることがありますが､故障ではありません。自然に回復します。

輸送について

本体を横倒しにして輸送した場合、パネルガラスの破損や面欠点の増加のおそれがありますので、横倒しでの輸送はしないでください。

本機の温度について

本機は、長時間使用したときなどに、パネル表面や上部が熱くなる場合があります。熱く感じる場合もありますが､故障ではありません。また、ビデオテープなどの熱で変形しやすいものを上に置かないでください。

焼き付きについて

静止画（画面表示など）や、ゲーム機などの動きの少ない映像や画像を長時間または繰り返し表示したり、ワイドモード（16:9）映像をノーマルモード（4：3）で長時間ご覧になると、液晶パネルが焼き付きを起こす場合がありますので、ワイドモードはノーマル以外のモードで使用することをおすすめします。焼き付きが軽度のときは、目立たなくなることがありますが、一度起こった焼き付きは完全には消えません。

本機を破棄するとき

一般の廃棄物と一緒にしないでください。ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本機を捨てないでください。
本機の内部で使用している蛍光管の中には水銀が含まれています。破棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

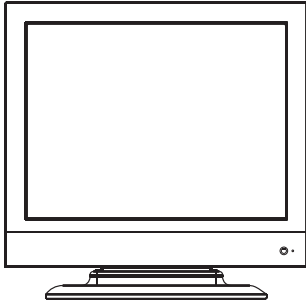
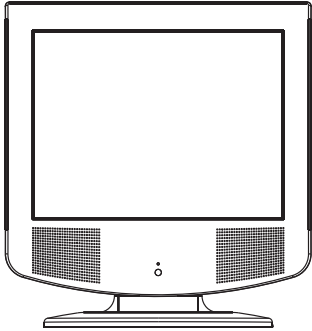
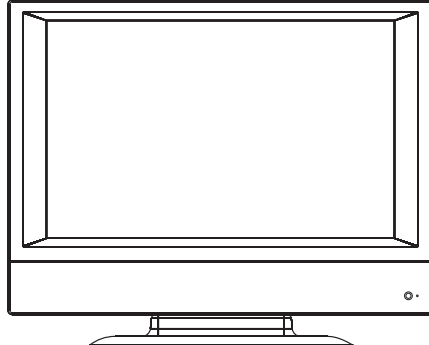
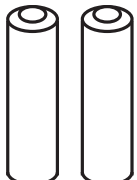
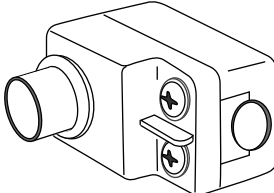
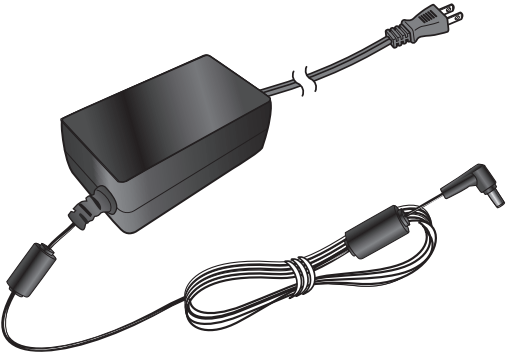
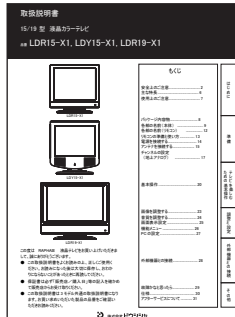
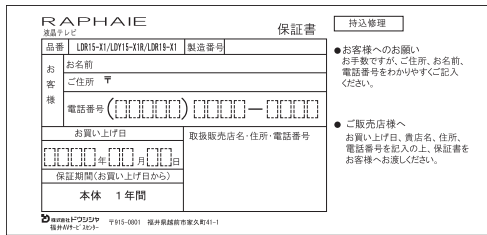
室内温度について

液晶の特性により、室温が低い場合は、画像がぼやけたり、動きがスムーズに見れないことがありますが常温に戻りれば回復します。

バックライトについて

液晶パネルはバックライトが発光することにより画像を表示していますがバックライトには寿命があり、本機のバックライト寿命は約 20000 時間です。（常温での使用時に画像が暗くなるようでしたら、サービスセンターへご相談ください。）

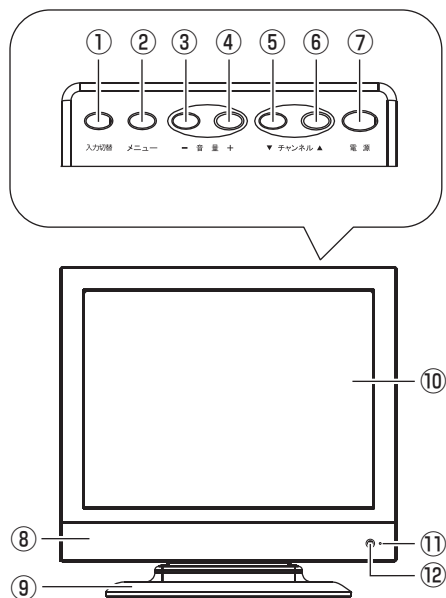
CATV 対応について

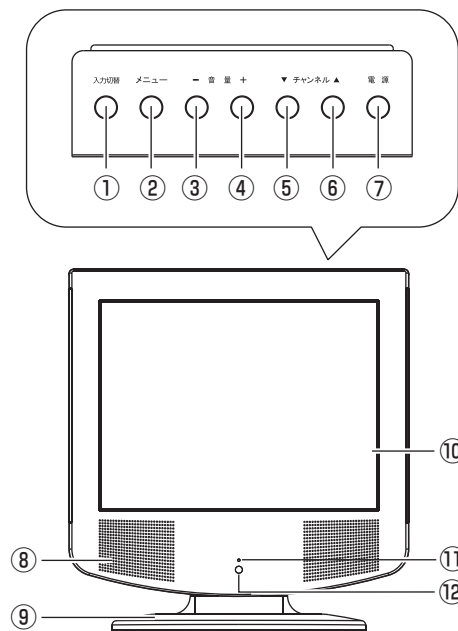
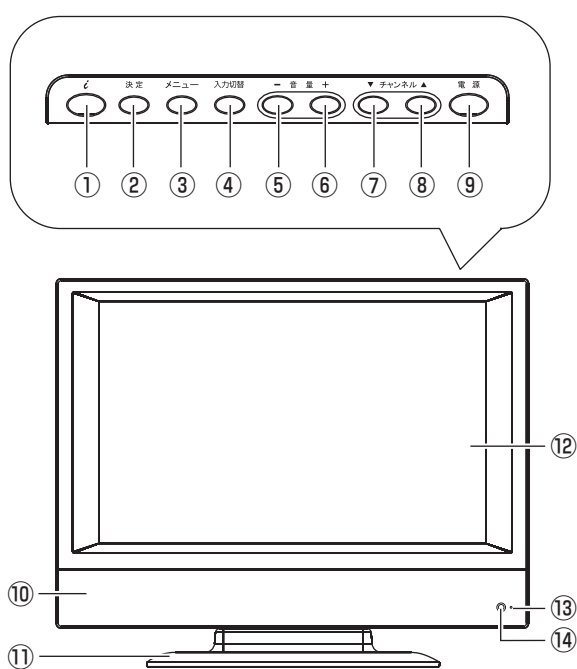
本機は CATV（ケーブルテレビ）が受信できるように設計されています。CATV を受信される場合はお近くの CATV 会社にご相談ください。

パッケージ内容物

ご購入のパッケージ内には、以下のものが含まれます。

各部の名称（本体）

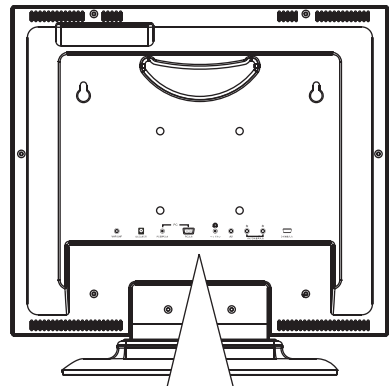
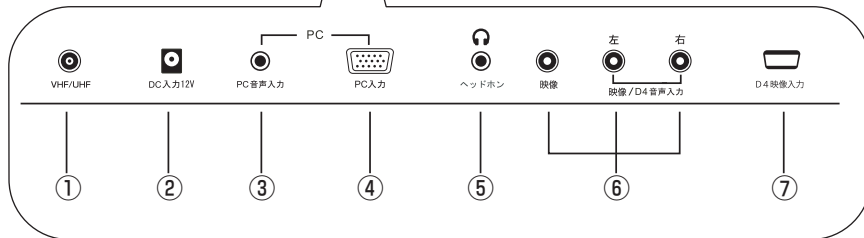
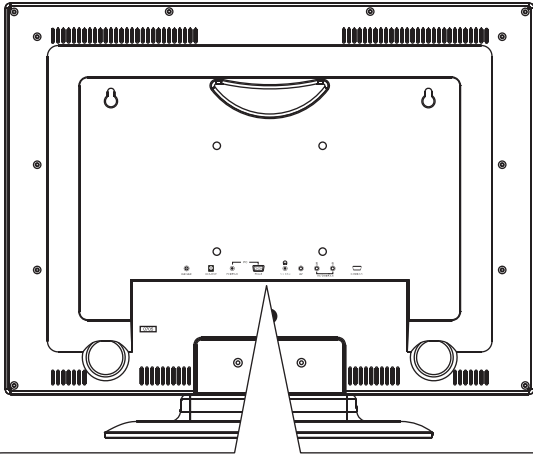
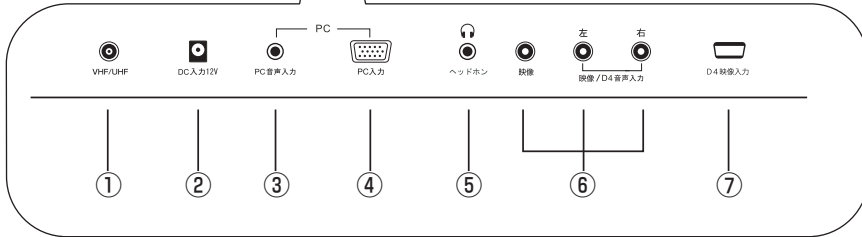
本体前面と操作部

LDR15-X1

LDY15-X1R

① 入力切替ボタン
② メニューボタン
③ 音量−ボタン
④ 音量＋ボタン（入力切替選択ボタン兼用）
⑤ チャンネル▼ボタン
⑥ チャンネル▲ボタン
⑦ 電源ボタン
⑧ スピーカー
⑨ スタンド
⑩ 液晶画面
⑪ 電源ランプ
⑫ リモコン受光部

LDR19-X1

① i ボタン（PC モードの際に画像の位置を自動的に調整します）
② 決定ボタン
③ メニューボタン
④ 入力切替ボタン
⑤ 音量−ボタン
⑥ 音量＋ボタン
⑦ チャンネル▼ボタン
⑧ チャンネル▲ボタン
⑨ 電源ボタン
⑩ スピーカー
⑪ スタンド
⑫ 液晶画面
⑬ 電源ランプ
⑭ リモコン受光部

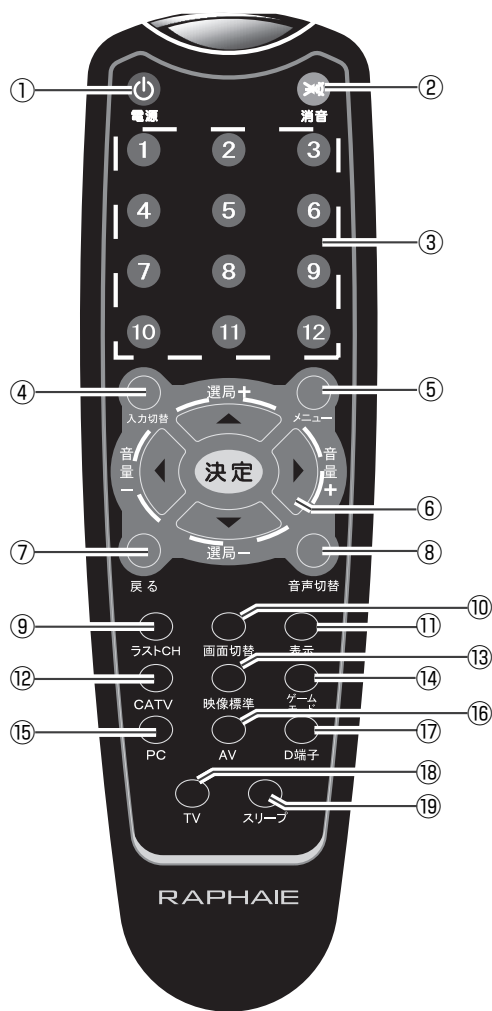
各部の名称（本体）（ つづき ）

本体後面

LDR15-X1・LDY15-X1R

① アナログアンテナ入力端子
② DC 入力　12V
③ PC 音声入力端子
④ PC 用モニター入力端子
⑤ ヘッドホン端子
⑥ 映像 / 音声（D4 音声入力）入力端子
⑦ D4 映像入力端子

LDR19-X1

① アナログアンテナ端子
② DC 入力　12V
③ PC 音声入力端子
④ PC 用モニター入力端子
⑤ ヘッドホン端子
⑥ 映像 / 音声（D4 音声入力）入力端子
⑦ D4 映像入力端子

メモ	● 垂直方向には、前方に 5°、後方に 10°調整することができます。 ● 映像（RCA）と D4 の音声入力は 1 系統ですので、どちらか一方を選択してご使用ください。

⚠注意	● 垂直方向・水平方向ともに、調整できる範囲を超えて使用しないでください。範囲を超えての使用は、画面･スタンド･ヒンジに支障をきたす場合があります。 ● ぐらついた台の上や、傾いた所など、不安定な場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりして、故障やけがの原因となります。

各部の名称（リモコン）

メモ	● 電源ボタン、入力切替ボタン、メニューボタン、音量＋／－ボタン、チャンネル▲／▼ボタンは本体でも操作できます。 ● この取扱説明書では、主にリモコンを使った操作方法で説明しています。

① 電源ボタン
テレビの電源を入れたり、切ったりします。

② 消音ボタン
音声を一時的に消します。もう一度押すと解除します。

③ 数字ボタン
表示するチャンネルを選択します。

④ 入力切替ボタン
入力ソースを切り替えます。

⑤ メニューボタン
メニュー画面を表示します。

⑥ 決定ボタン
画面メニューの選択内容を決定します。
▲▼◀▶ボタン
メニュー画面を表示しているときはカーソルを移動します。テレビを見ているときは▲▼で選局、◀▶で音量を調整します。

⑦ 戻るボタン
メニュー画面を表示しているとき、1 つ前の画面に戻ります。

⑧ 音声切替ボタン
2 カ国語 / ステレオなど音声を切り替えます。

⑨ ラスト CH
アナログテレビで直前に選択したチャンネルに戻ります。

⑩ 画面切替ボタン
画面アスペクト比率を 16：9 と 4：3 の間で切り替えます。（LDR19-X1 のみ 16:10　16:9　4:3）

⑪ 表示ボタン
チャンネル番号や入力モード、その他のテレビ設定情報を画面に表示します。もう一度押すと表示が消えます。

⑫ CATV ボタン
ケーブルテレビに切り替えます。

⑬ 映像標準ボタン
画面設定をお買い上げ時の設定にします。

⑭ ゲームモードボタン
ゲームに適した画面の明るさにします。

⑮ PC ボタン
PC 入力に切り替えます。

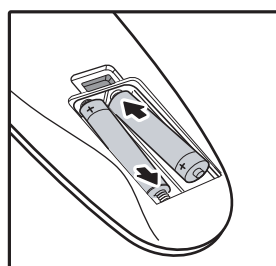
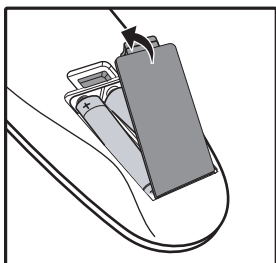
⑯ AV ボタン
AV 入力に切り替えます。

⑰ D 端子ボタン
D 端子入力に切り替えます。

⑱ TV ボタン
地上アナログ放送に切り替えます。

⑲ スリープボタン
スリープタイマーを設定します。

リモコンの準備と使い方

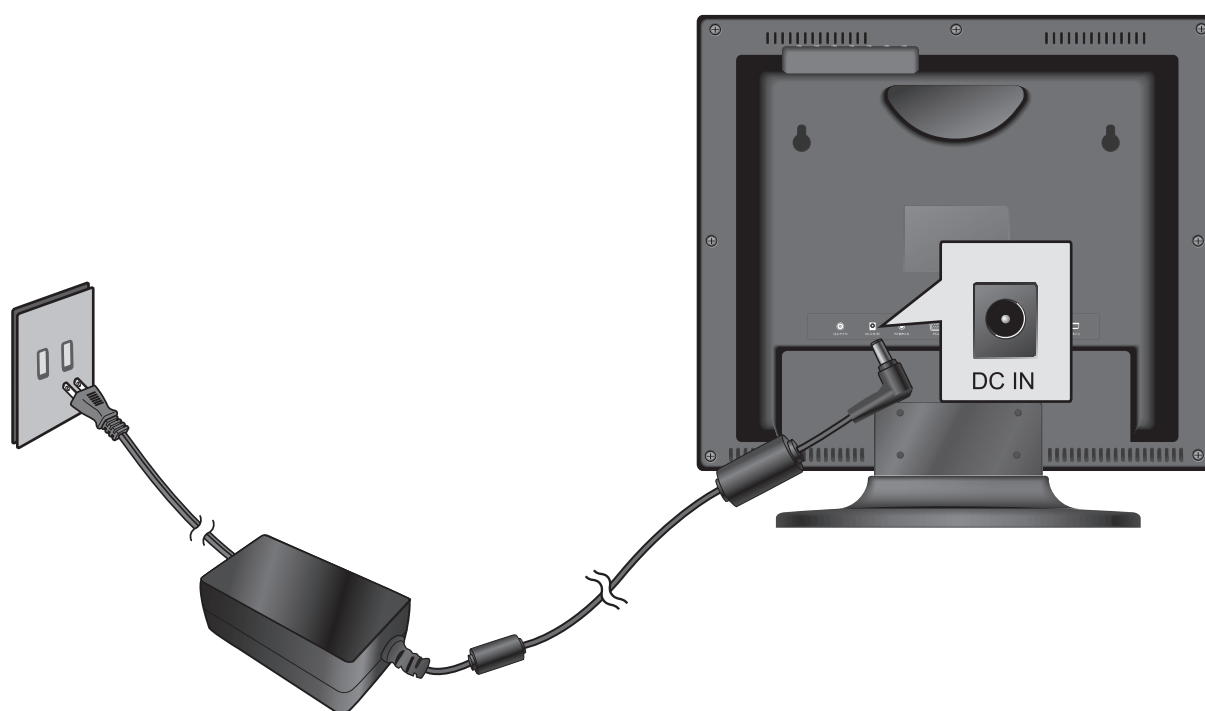
1. リモコン裏側の電池ケースカバーを下方向へ引き、カバーを外します。

2. 電池の＋、－極の方向に注意して電池ボックスに電池を入れます。

3. 電池ケースカバーを元に戻します。

⚠注意	● 新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。新しい電池の寿命が短くなります。古い電池から化学液が漏れることがあり、火災やけがの原因になります。 ● 電池の入れ方が正しくないとリモコンの故障の原因になり、火災につながる恐れがあります。

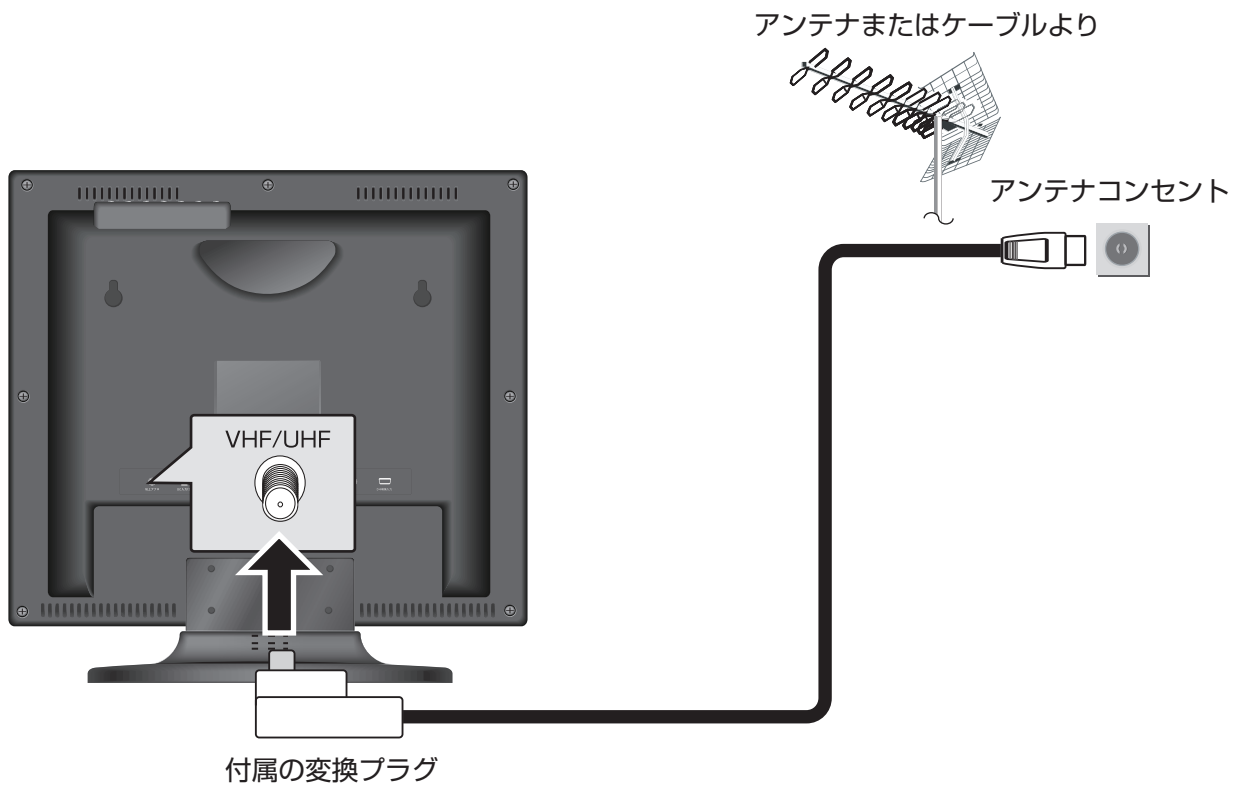
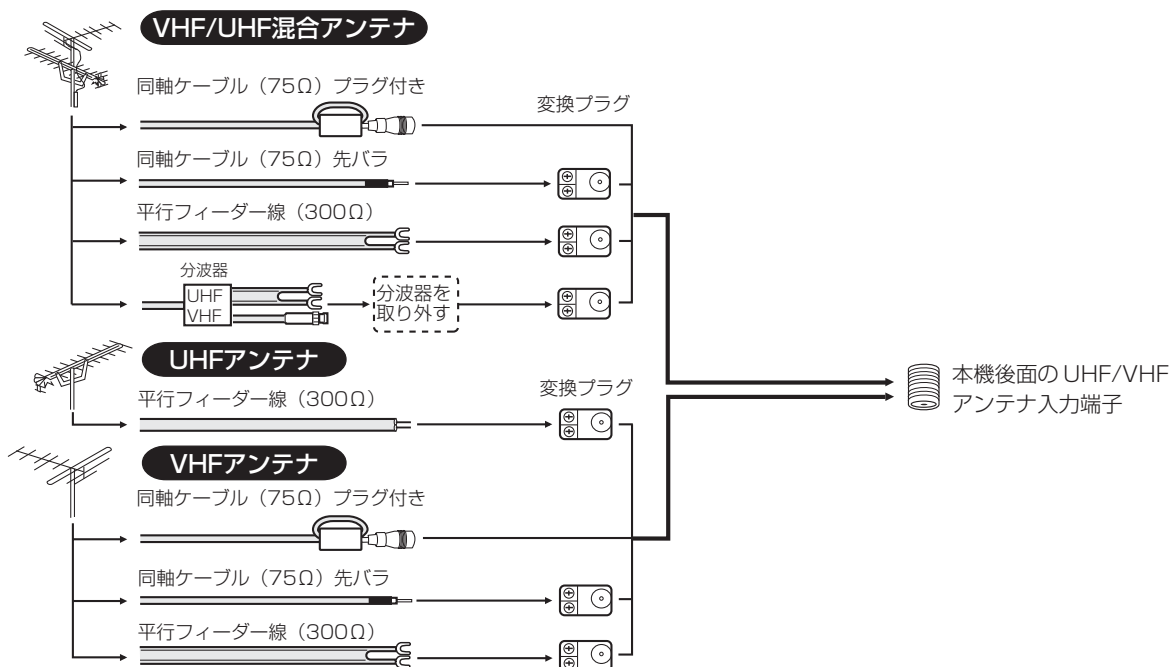
お願い	● 付属の電池、または指定する電池を必ずお使いください。 ● 電池は正しい電極の向きで入れてください。 ● 電池の廃棄は、地域の規則に従ってください。 ● 長時間リモコンを使用しない場合は、電池を取り外し、正しく保管してください。

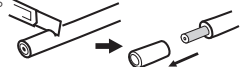
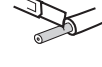
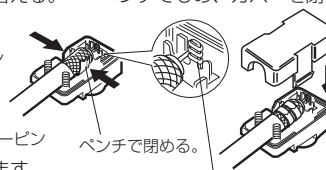
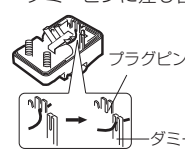
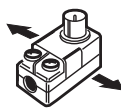
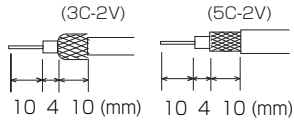
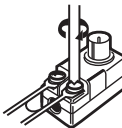
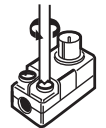
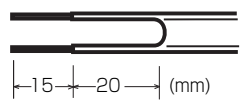
電源を接続する

1. AC アダプターの DC プラグをテレビの DC 入力 12V にしっかりと差し込みます。

2. AC アダプターのプラグをコンセントに差し込みます。
   電源ランプが赤く点灯します。

注意	● 長時間テレビを使用しない場合は、電源コードをコンセントから抜いてください。 ● 付属のアダプターと電源コードは、LDR15−X1、LDY15−X1R、LDR19−X1専用です。他のアダプターやケーブルとの組み合わせはしないでください。本機以外の機器へはお使いにならないでください。

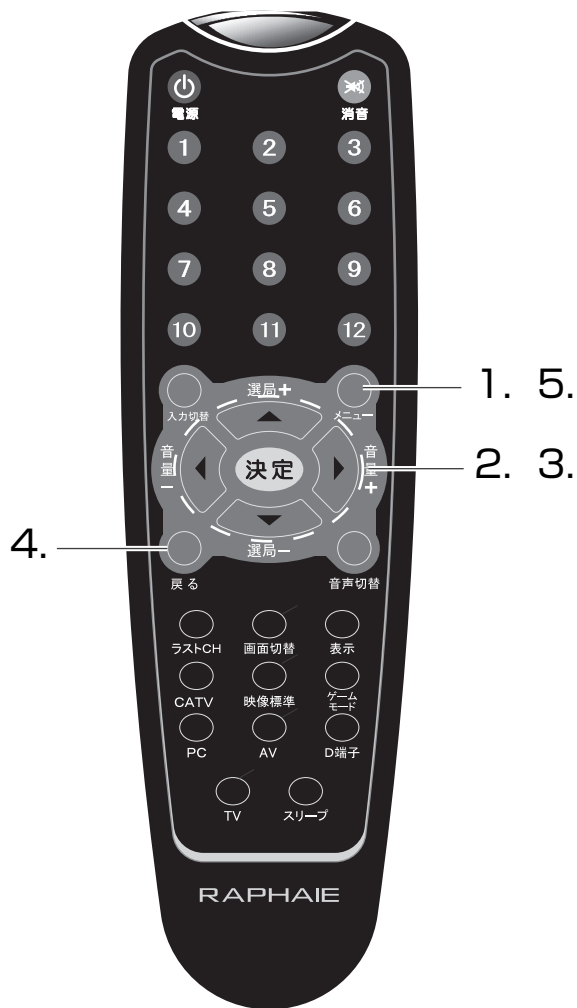
アンテナを接続する

■　75 Ω同軸ケーブルを使って、液晶テレビをアンテナまたはケーブルテレビボックスに接続します。

ご使用になるアンテナ線の種類により、接続の方法が異なります。アンテナ線の種類により付属の変換プラグを取り付け本機と接続します。アンテナをつなぐときは、必ず電源を切ってください。

- フィーダー線付変換プラグなどが、すでにケーブルに付いている場合は、プラグを根元から取り外し、市販品の変換プラグを取り付けるか、販売店にご相談ください。

アンテナを接続する（つづき）

注意 アンテナ工事は技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

チャンネルの設定（地上アナログ放送）

初めてご使用になる前には必ずチャンネルサーチをしてください。チャンネルサーチをしていないと、映像が映っても画面が白黒になる場合があります。

■ を選ぶと、TV メニューが表示されます。
■ 自動的に VHF から UHF まですべての受信チャンネルを検索し、メモリーに記憶していきます。
■ CATV など他にもチャンネルがある場合、その内容にスクランブルがかかっていて内容が見れなくても受信可能チャンネルとして記憶されます。本製品では、スクランブルされたチャンネルを見る機能はありません。

1. を押して、画面メニューを表示します。

2. を使って、TV メニュー を選択します。

3. を使って、メニューオプションを選択します。設定を変更したあと、決定を押します。

メニューオプション

項目	説明
オートチャンネルサーチ	スキャン機能を使って受信可能なチャンネルを自動設定します。→ P.18
微調整	映りが悪いときに微調整を行います。→ P.18
受信チャンネル	設定を変更するチャンネルを切り替えます。→ P.18
スキップ	ボタンを押したときに、空いているチャンネルボタンをスキップする設定を行います。→ P.19
受信放送	受信する放送（TV と CATV）を切り替えます。→ P.18
リモコン CH 編集	受信可能なチャンネルをお好みのチャンネルボタンに割り当てます。→ P.19

4. を押して、直前のメニュー画面に戻ります。

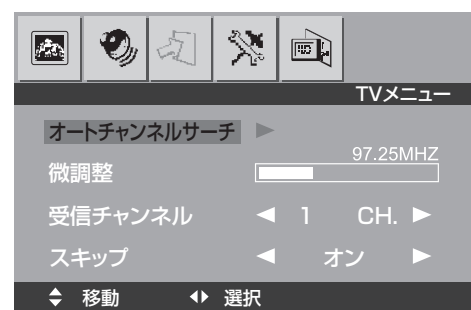
5. を押してメニューを終了します。

チャンネルの設定（つづき）

受信放送を選択する

1. **P.17 同様、手順 1 ～ 2 を行ったあと、手順 3 で受信放送を選択します。**
2. **ボタンを使って、TV または CATV を選択します。**
   TV　　：一般アナログ放送
   CATV：ケーブルテレビ放送

オートチャンネルサーチを実行する

1. **P.17 同様、手順 1 ～ 2 を行ったあと、手順 3 でオートチャンネルサーチを選択し、決定を押します。**
   決定を押すと、自動的に現在受信できるチャンネルをサーチして記憶します。
2. **スキャン中は、画面の右上に「スキャン」と「チャンネル番号」が表示されます。**

チャンネル設定の便利な機能

P.17 同様、手順 1 ～ 2 を行ったあと、下記のメニュー操作を行うことにより、便利な使い方ができます。

受信チャンネル

TVメニュー
オートチャンネルサーチ
97.25MHZ
微調整
受信チャンネル　1　CH.
スキップ　オン
移動　選択

1. **P.17 同様、手順 1 ～ 2 を行ったあと、手順 3 で受信チャンネルを選択します。**
2. **を使ってチャンネル番号を選択します。**
   ※ 決定を押さなくても選択したチャンネルを受信します。

微調整を行う

オートチャンネルサーチで受信したあとで映りが悪いチャンネルを手動で微調整することができます。

1. **P.17 同様、手順 1 ～ 2 を行ったあと、手順 3 で微調整を選択し、決定を押します。**
2. **を使って微調整を行います。**
   ※ 決定を押さなくても微調整した状態が設定されます。
   ※ オートチャンネルサーチで受信した状態で問題がない場合は微調整を行う必要はありません。

チャンネルスキップ

■ あらかじめチャンネルスキップを設定しておくと、設定したチャンネルについてはリモコンおよび本体の を押したときに、放送のないチャンネル（空きチャンネル）を飛び越して選局できます。

1. P.17 同様、手順 1 〜 2 を行ったあと、手順 3 で受信チャンネルを選び、 でスキップしたいチャンネルを表示します。

2. を使ってスキップを選び、 で「オン」を表示します。

リモコンのチャンネルを設定する

■ テレビの受信チャンネルの画面表示を変更したいときや、チャンネルの順番を変えたいときにチャンネルをあわせなおすことができます。
■ ご使用される受信エリアでチャンネルの順番を新聞などの番組表にあわせておくと便利です。

1. P.17 同様、手順 1 〜 2 を行ったあと、手順 3 でリモコン CH 編集を選択し、決定を押します。
リモコンチャンネル画面が表示されます。

2. を使ってリモコンチャンネルを選択し、 でチャンネル番号を設定します。
必要に応じて 12 のリモコンチャンネルを設定することができます。

3. リモコンの❶〜⓬を操作することにより設定した内容で受信されます。

メモ	● リモコン 01 のチャンネル設定を、 でオフを選択すると、リモコン 01 にはチャンネルが設定されません。また、この場合はリモコン 01 では番組をお楽しみになることはできません。

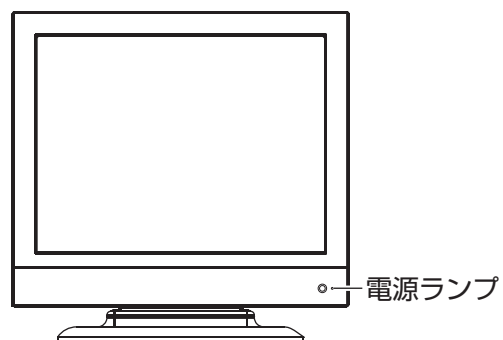
はじめに
準備
テレビを楽しむための基本操作
調整と設定
外部機器との接続
その他

基本操作

1. 電源を入れます。

リモコンの 電源 またはテレビ上部の電源ボタンを押します。

電源が入っているときは、電源ランプが緑に点灯します。電源が入っていないときは赤に点灯します。ランプが点灯していないときは電源コードが接続されていません。

●LDR15-X1 の場合

2. チャンネルを選びます。

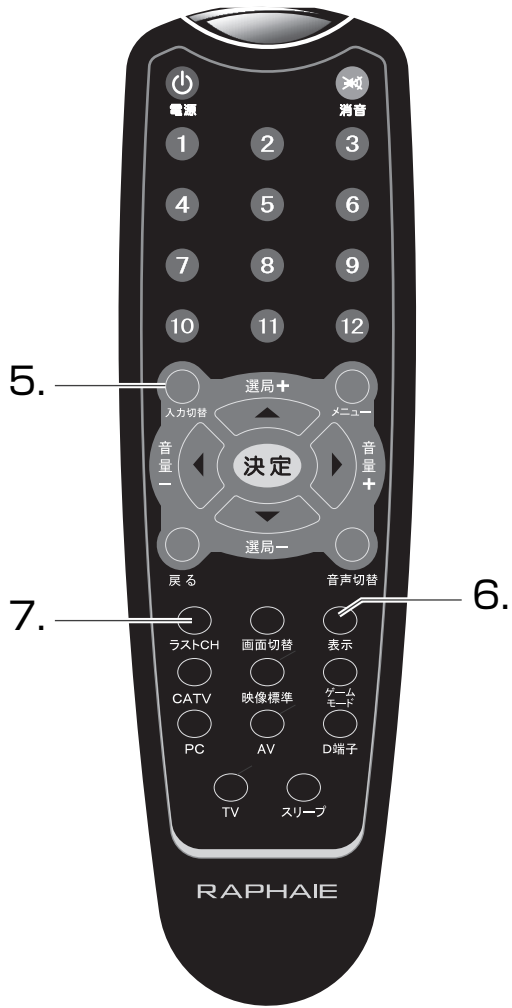
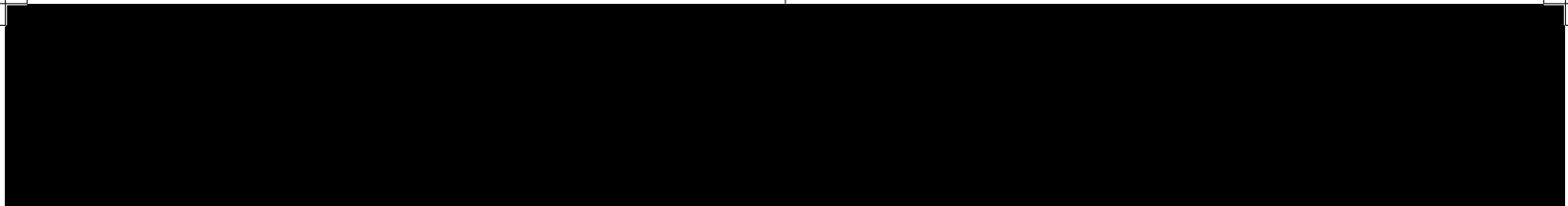
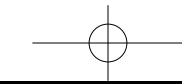
1 ～ 12 で、好みのチャンネル番号を直接押します。
▲ ▼ を使って、チャンネルを前後に変更します。

3. 音声を一時的に消します。

消音 を押すと音声が消えます（画面に「消音」と表示されます）。もう一度押すと、音声が入ります。
（電源を切ると消音はリセットされます。）

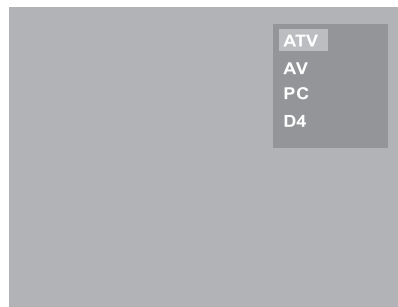
4. 音量を調節します。

◀ ▶ を押して、音量を下げたり、上げたりします。

メモ	● リモコン 01 のチャンネル設定を、◀ ▶ でオフを選択すると、リモコン 01 にはチャンネルが設定されません。また、この場合はリモコン 01 では番組をお楽しみになることはできません。 ● 放送内容や再生コンテンツにより音が割れることがありますので適正な音量まで下げてご使用ください。

5.　入力ソースを切り替えます。

（入力切替）を押すと、入力信号オプション画面が表示されます。

（▲）（▼）を使って、使用する入力ソースを選択し、（決定）を押します。

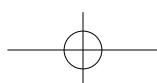
本体で操作するときは入力切替ボタンを押すと、入力信号オプション画面が表示されます。チャンネル▼／▲ボタンで選択し決定（LDR15/LDY15 は音量＋）ボタンを押します。

ATV　：一般アナログ放送
AV　：音声・映像端子に接続された AV 機器
PC　：PC 入力（D-SUB）に接続したパソコン
D4　：D4 映像入力に接続した機器
※「PC」に切り替えたときにパソコンから信号が送られていない場合は、「信号なし」と画面中央に表示されます。

6.　入力ソースおよび現在のチャンネル情報を表示します。

（表示）を押すと、現在のチャンネル番号と入力ソースが表示されます。表示は約 10 秒後に自動的に消えるよう初期設定されています。表示時間は 60 秒まで任意に設定することができます。「消音」の場合は表示は消えません。

7.　直前のチャンネルに戻ります。

（ラストCH）を押すと、直前に表示したチャンネルに戻ります。

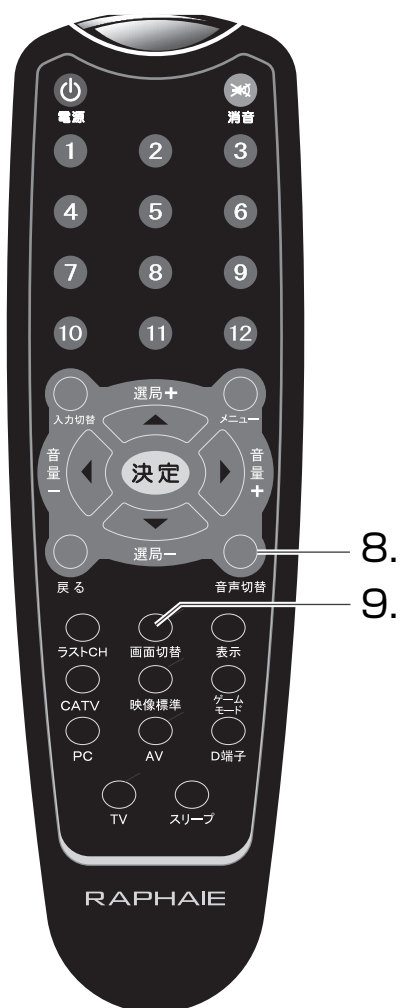
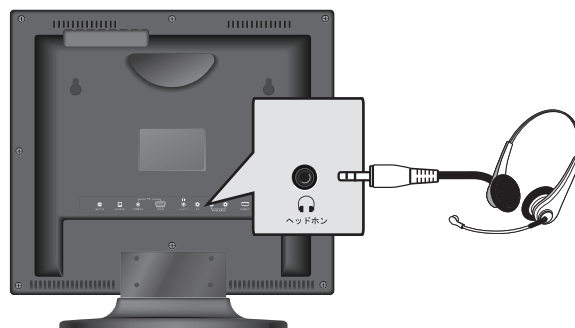
メモ	●（CATV）を押すと、CATV と TV を切り替えることができます。 ●（PC）（AV）（D端子）（TV）でダイレクトに入力ソースを切り替えることができます。

基本操作（つづき）

イヤホン / ヘッドホンで楽しむ

■ 市販のイヤホンを使用するときは本体後面にあるヘッドホン出力端子に接続してください。（出力インピーダンスは 32 Ω出力は約 3 mW です）

■ 接続するとスピーカーからの音は消えます。

●LDR-X1 の場合

8. 音声切り替えます。

（音声切替）を押すと、主／副音声またはステレオ／モノラルに切り替わります。

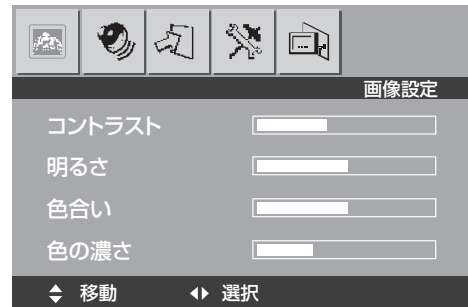
9. 画面比率を変更します。

（画面切替）を押すと、アスペクト比が 16：9 と 4：3 に切り替わります。

（LDR19-X1 のみ 16:10　16:9　4:3）

※ 16:10 のアスペクト比は PC 入力時のみ使用します。通常の TV 放送などの表示で使用すると横長に伸びた画像になります。

画像を調整する

■ を選ぶと、画像設定メニューが表示されます。
■ 画像設定では「コントラスト」、「明るさ」、「色合い」「色の濃さ」、「シャープネス」、「色温度」、「ピクチャーモード」の項目を調整できます。
■ 調整する入力モード（アナログテレビ、CATV、PC、AV、D4）に切り替えてから操作してください。選択中の入力モードのみ調整されます。

1. メニュー を押して、画面メニューを表示します。

2. を使って、画像設定メニュー を選択します。

3. を使って、メニューオプションを選択します。設定を変更したあと、決定 を押して確定します。

メニューオプション

項目	左へ移動したとき	右へ移動したとき
コントラスト	薄くなります。	濃くなります。
明るさ	暗くなります。	明るくなります。
色合い	肌色が赤がかる。	肌色が緑がかる。
色の濃さ	薄い色になる。	濃い色になる。
シャープネス	やわらかな映像になる。	くっきりした映像になる。
色温度	「ノーマル」⟷「ウォーム」⟷「クール」に切り替わります。 ノーマル：自然に近い色になります。 ウォーム：赤味を増すことで、暖色系の色になります。 クール　：青味を増すことで、寒色系の色になります。	
ピクチャーモード	「ノーマル」⟷「ソフト」⟷「ブライト」⟷「パーソナル」に切り替わります。 ノーマル　：標準的な明るさの環境に映像を適応させることができます。 ソフト　　：暗い環境に映像を適応させることができます。 ブライト　：標準よりも明るい環境に映像を適応させることができます。 パーソナル：個別に設定した「コントラスト」「明るさ」「色合い」「色の濃さ」「シャープネス」「色温度」「ピクチャーモード」が記憶されています。	

4. 戻る を押して、直前のメニュー画面に戻ります。

5. メニュー を押してメニューを終了します。

はじめに
準備
テレビを楽しむための基本操作
調整と設定
外部機器との接続
その他

音質を調整する

- を選ぶと、音声設定メニューが表示されます。
- 音声をお好みの音質に変えることができます。
- 音質設定では「音量」､「低音」､「高音」「バランス」､「音声モード」､「二重音声」の項目を調整できます。設定はそのまま記憶されます。
- 調整する入力モード（アナログテレビ、CATV、PC、AV、D4）に切り替えてから操作してください。選択中の入力モードのみ調整されます。

1. メニュー を押して、画面メニューを表示します。

2. を使って、音声設定メニュー を選択します。

3. を使って、メニューオプションを選択します。設定を変更したあと、決定 または を押して確定します。

メニューオプション

項目	左へ移動したとき	右へ移動したとき
音量	音が小さくなります。	音が大きくなります。
低音	低音を弱めます。	低音を強めます。
高音	高音を弱めます。	高音を強めます。
バランス	左スピーカーの出力を強めます。	右スピーカーの出力を強めます。
音声モード	「パーソナル」⟷「ステレオ」⟷「ニュース」⟷「シアター」⟷「ホール」に切り替わります。 パーソナル：個別に設定した「音量」「低音」「高音」「バランス」が記憶されています。 ステレオ　：スポーツや歌番組を視聴するのに適した音質になります。 シアター　：映画を視聴するのに適した音質になります。 ホール　　：歌劇やミュージカルを視聴するのに適した音質になります。 ニュース　：一般放送やニュース番組を視聴するのに適した音質になります。	
二重音声 （TV、CATV のみ）	「ステレオ」⟷「モノラル」または「主音声」⟷「副音声」⟷「主 / 副」に切り替わります。 ステレオ放送の場合：「ステレオ」「モノラル」から選択できます。 二重音声の場合　　：「主音声」「副音声」「主 / 副」から選択できます。	

※ 音声切替は信号入力があるときのみ動作します。

4. 戻る を押して、直前のメニュー画面に戻ります。

5. メニュー を押してメニューを終了します。

画面表示設定

■ を選ぶと、OSD メニューが表示されます。
■「OSD」とは画面表示設定を意味します。

1. を押して、画面メニューを表示します。

2. を使って、OSD メニュー を選択します。

3. を使って、メニューオプションを選択します。設定を変更したあと、決定を押して確定します。

メニューオプション

項目	左へ移動したとき	右へ移動したとき
言語	「日本語」⟷「英語」に切り替わります。 日本語：画面に表示されるメニューの言語が日本語になります。 英語　：画面に表示されるメニューの言語が英語になります。	
水平ポジション	メニューを左へ移動します。	メニューを右へ移動します。
垂直ポジション	メニューを上へ移動します。	メニューを下へ移動します。
OSD 表示時間	OSD 表示時間を短くします。	OSD 表示時間を長くします。
半透明	メニューの背景色を濃くします。	メニューの背景色を薄くします。
インフォメーション	最後にファームウェアが更新された日付が表示されます。	
リセット	「はい」⟷「いいえ」に切り替わります。 はい　：すべての設定をお買い上げ時の状態（初期設定）にします。 いいえ：リセットを行わないで、OSD メニューに戻ります。	

4. 戻る を押して、直前のメニュー画面に戻ります。

5. を押してメニューを終了します。

メモ	● 初期設定に戻した場合でも CATV の設定は変更されません。CATV を初期設定にするには、CATV モードに切り替えてリセットを実行してください。

機能メニュー

■ を選ぶと、機能メニューが表示されます。

1. を押して、画面メニューを表示します。

2. を使って、機能メニュー を選択します。

3. を使って、メニューオプションを選択します。設定を変更したあと、決定を押して確定します。

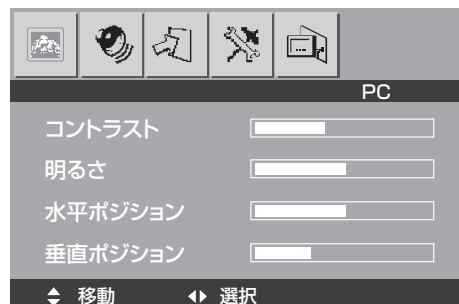
メニューオプション

項目	左へ移動したとき	右へ移動したとき
スクリーンセーバー	「オン」⟷「オフ」に切り替わります。 オン：スクリーンセーバー機能が働きます。 オフ：スクリーンセーバー機能は働きません。	

4. を押して、直前のメニュー画面に戻ります。

5. を押してメニューを終了します。

PCの設定

■ 入力切替 を押して、PCモードに切り替えて操作してください。
■ を選ぶと、PCの設定メニューが表示されます。

1. メニュー を押して、画面メニューを表示します。

2. を使って、PCメニュー を選択します。

3. を使って、メニューオプションを選択します。設定を変更したあと、決定を押して確定します。

メニューオプション

項目	左へ移動したとき	右へ移動したとき
コントラスト	薄くなります。	濃くなります。
明るさ	暗くなります。	明るくなります。
水平ポジション	メニューを左へ移動します。	メニューを右へ移動します。
垂直ポジション	メニューを上へ移動します。	メニューを下へ移動します。
クロック周波数※1	クロック周波数の値を下げます。	クロック周波数の値を上げます。
色温度	「ノーマル」⟷「ウォーム」⟷「クール」⟷「ユーザー」に切り替わります。 ノーマル：自然に近い色になります。 ウォーム：赤味を増すことで、暖色系の色になります。 クール　：青味を増すことで、寒色系の色になります。 ユーザー：お客様の調整した色温度になります。	
クロック位相※2	画像のフォーカス度を低める。	画像のフォーカス度を高める。
自動調整	「オン」⟷「オフ」に切り替わります。 オン：画面の解像度を自動的に調整します。 オフ：画面の解像度の調整を行いません。	

※1　クロック周波数：画面に縦縞状のちらつきがある場合にクロック周波数を調整します。
※2　クロック位相：通常は調整の必要はありませんが、画面の焦点が合っていないように見えるときなどにクロック位相の調整を行うときれいになることがあります。

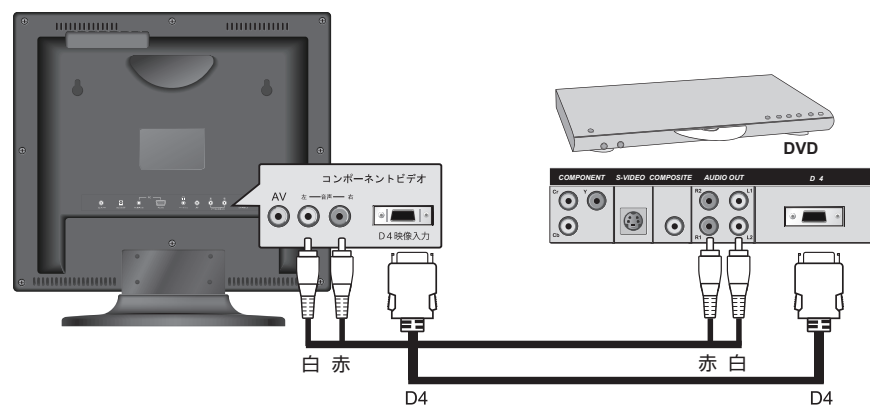
4. 戻る を押して、直前のメニュー画面に戻ります。

5. メニュー を押してメニューを終了します。

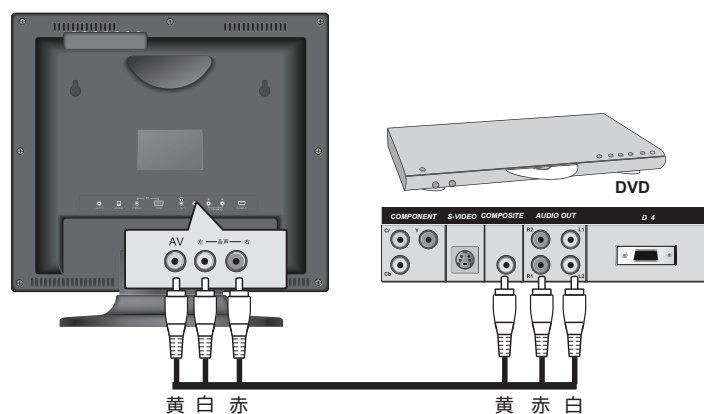
メモ	● 音声、機能メニューおよびOSDメニュー設定については、アナログテレビモードの説明を参照してください。PCモードではTVメニューを使用できません。→ P.24、P.25、P.26

外部機器との接続

コンポーネントを使って、DVD プレーヤーなどに接続する

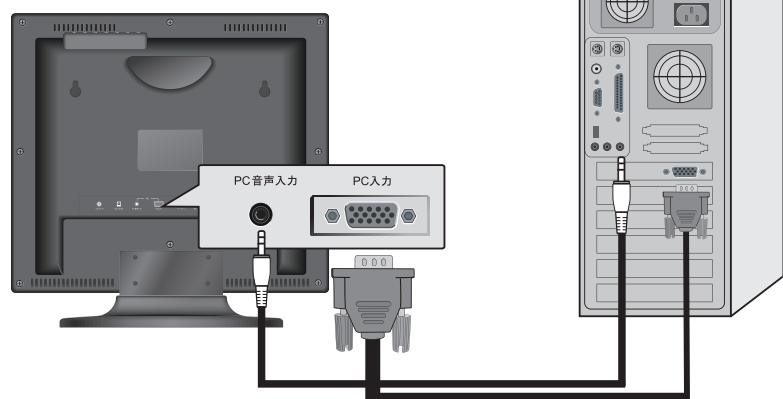
下図を参照しながら、D 端子ケーブルを使って液晶テレビを DVD に接続します。

● LDR-X1 の場合

ビデオ入力を使って、DVD プレーヤーなどに接続する

図を参照しながら AV ケーブルを使って液晶テレビを DVD に接続します。

● LDR-X1 の場合

パソコンなどに接続する

下図を参照しながら、液晶テレビをパソコンに接続します。

● LDR-X1 の場合

※ 本機には各接続ケーブルは付属しておりません。

故障かなと思ったら

こんなとき	ここを確かめてください
映像も音声も出ない	・電源コードはコンセントに正しく差し込まれていますか？ ・放送局以外の電波を受信していることが考えられます。 ・テレビモード以外の入力モードになっていませんか？ ・電源スイッチは入っていますか？
映像が出ない AV 映像が出ない	・明るさは正しく調整されていますか？ ・外部機器との接続は正しくされていますか？
音声が出ない	・ヘッドホンを差し込んでいませんか？ ・消音になっていませんか？ ・音量が最小になっていませんか？
映像も音声もノイズしか出ない	・アンテナケーブルが正しく接続されていますか？
映りが悪い	・アンテナケーブルが正しく接続されていますか？ ・電波状態が悪いことが考えられます。
色合いが悪い、色が薄い	・色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？
画面が暗い	・明るさは正しく調整されていますか？
リモコンが動作しない	・リモコンの電池がきれていませんか？ ・お部屋の蛍光灯の強い光がリモコン受光部にあたっていませんか？
映像が不鮮明 映像がゆれる	・テレビの電波が弱い場合が考えられます。 ・電波状態が悪い場合も考えられます。 ・アンテナの方向がズレていませんか？ ・屋外アンテナのアンテナ線が外れていませんか？
映像が 2 重 3 重になる	・アンテナの方向がズレていませんか？ ・山やビルから反射した電波の影響も考えられます。
画面にはん点が出る	・自動車、電車、高圧線、ネオンなどからの妨害電波の影響が考えられます。
画面に縞模様が出たり、色が消える	・他の機器からの影響（妨害電波）を受けていませんか？また、ラジオ放送やアマチュア無線の送信アンテナが近くにある場合や、携帯電話の使用なども考えられます。 ・妨害電波を出していると考えられる他の機器から、なるべくはなれた場所でお使いください。
映像や音声が出なくなったり、または時々出なくなる 映像が静止したり、または時々静止する	・アンテナの向きが、風や振動によって変わっていませんか？アンテナを調整してください。 ・アンテナ線の劣化が考えられます。 ・着雪（アンテナ）、雨、雷雨などによる電波の減衰や、強風時のアンテナの揺れなどが考えられます。雷雨や豪雨の中では、受信電波が弱くなり、また雪がアンテナに積もると受信状態が悪くなるため、一時的に映像や音声が止まったり、ひどいときにはまったく受信できなくなることがあります。天候の回復を待ってください。

仕様

	型名	LDR15-X1/LDY15-X1R	LDR19-X1
テレビ部	電源	AC100V(50/60Hz) アダプター使用	AC100V(50/60Hz) アダプター使用
	外形寸法 （W × D × H cm）	LDR15　35 × 17 × 35（スタンド含む） LDY15　37.2 × 17 × 39.5（スタンド含む）	50 × 20 × 41（スタンド含む）
	質量　kg	LDR15　約 1.8 LDY15　約 2.2	約４．４
	消費電力	30 W	50 W
	待機時消費電力	１ W	１ W
	年間消費電力量	38.6 kwh/ 年	84.3 kwh/ 年
	入力端子	D4 映像 RCA 映像 RCA 音声入力（L ・ R） D － SUB ＋（専用音声入力端子）	D4 映像 RCA 映像 RCA 音声入力（L ・ R） D － SUB ＋（専用音声入力端子）
	出力端子	ヘッドホンジャック	ヘッドホンジャック
	許容動作温度	（動作時）5℃～ 40℃ （保存時）-10℃～ 60℃	（動作時）5℃～ 40℃ （保存時）-10℃～ 60℃
	許容相対湿度	80%以下	80%以下
	液晶画面	画素数：水平 1024 ×垂直 768 ピクセル	画素数：水平 1440 ×垂直 900 ピクセル
	受信チャンネル	地上アナログ：VHF1 ～ 12/ UHF13 ～ 62/CATVc13 ～ c63	地上アナログ：VHF1 ～ 12/ UHF13 ～ 62/CATVc13 ～ c63
	音声実用最大出力	２w × ２	２w × ２
	ヘッドホンジャック	3.5 mmΦ	3.5 mmΦ
	アンテナ入力	U/V 混合 F 型コネクター 75 Ω	U/V 混合 F 型コネクター 75 Ω
リモコン	電源	DC3 V（単四形乾電池× 2）	DC3 V（単四形乾電池× 2）
	質量	70 g	70 g
	リモコン操作距離	約５ m（ただし直進）	約５ m（ただし直進）
	付属品	リモコン× 1、単四形乾電池× 2、AC アダプター、AC コード(LDR19-X1 のみ)、変換プラグ	

年間消費電力とは：省エネルギー法に基づいて型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。

外観と仕様は改良の為に予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
このテレビをご使用できるのは、日本国内のみで外国では使用できません。

アフターサービスについて

製品の保証について

1　この製品には保証書がついています。
保証書は販売店にて所定事項を記入したものをお受け取りください、内容をよくお読みのうえ大切に保管してください。

2　保証期間はお買い上げの日から本体 1 年間です。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
※動物や昆虫による故障も保証対象外になります。

3　保証期間後の修理は販売店またはドウシシャサービスセンターにご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
ご使用者により本機を誤った使用方法による為に生じた故障、その他の不具合または他への損害に付きましては、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

修理を依頼されるときは

⚠警告

- 故障のときは、ただちに使用をやめて電源プラグを抜き、お買い上げの販売店にこの製品をお持込のうえ修理をお申しつけください。
- ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

補修用性能部品について

1　補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

2　本機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後 8 年間です。

アフターサーサービスについてわからないことは…

お買い上げの販売店、またはドウシシャ福井 AV サービスセンターにお問い合わせください。

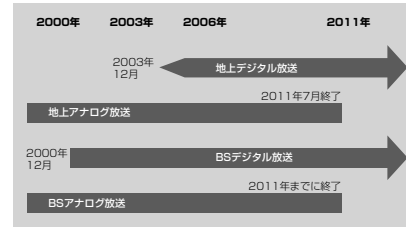
株式会社ドウシシャ

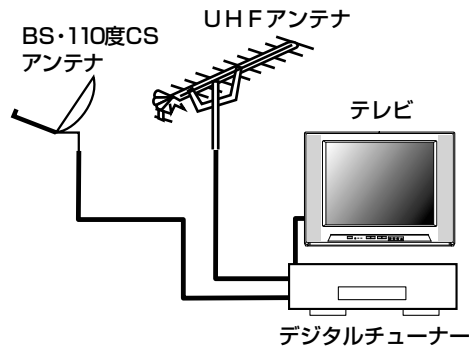
（東京本社）〒 140-8525　東京都品川区東大井 1-8-10
（大阪本社）〒 542-8525　大阪市中央区東心斎橋 1-5-5

□　故障・修理についてのご相談は…　⇒ドウシシャ福井 AV サービスセンター
【受付時間】9:00 ～ 17:00（祝祭日以外の月曜日～金曜日）
〒 915-0801 福井県越前市家久町 41-1
TEL: 0778-24-2779

※アナログ放送からデジタル放送への移行について※

デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の施策として決定されています。

アナログ放送受信用のテレビでデジタル放送をご覧になるには

市販のデジタルチューナーを接続することによりデジタル放送をご覧頂けます。ただし、受信する画質や縦横比（アスペクト比）はテレビの種類により異なります。なお、受信には、デジタル放送に対応したアンテナシステムが必要です。また、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル共用タイプのチューナーであれば、1台でそれぞれの放送をご覧頂けます。

本機では、地上デジタル放送を受信できません。

便利メモ

・おぼえのため、記入されると便利です。

ご購入（据付）年月日	年　月　日
ご購入店名	
	TEL.（　　）　　ー

J-Mossグリーンマークとは特定の化学物質の含有率が基準値以下であることを示すマークです。

DOSHISHA CORPORATION
発売元 株式会社ドウシシャ

株式会社ドウシシャ　福井 AV サービス
〒915-0801　福井県越前市家久町 41-1
☎ (0778)24-2779
FAX (0778)24-2799

Ver. 3